

(18枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【注意事項】

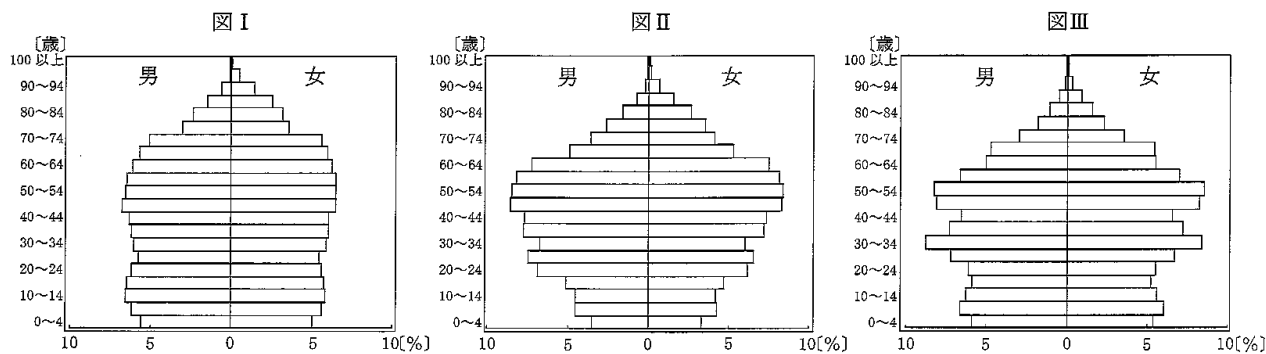
- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類がある。
- 3 問題①～⑤はマーク式問題、問題⑥及び⑦は記述式問題である。マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答 番号	解 答 欄								
1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

① あとの1～12に答えなさい。

- 1 次の図Ⅰ～Ⅲは、2020年の韓国、中国、フランスのいずれかの人口ピラミッドを示したものです。図と国名の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑥の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号1の解答欄にマークしなさい。



(総務省統計局統計ダッシュボードにより作成。)

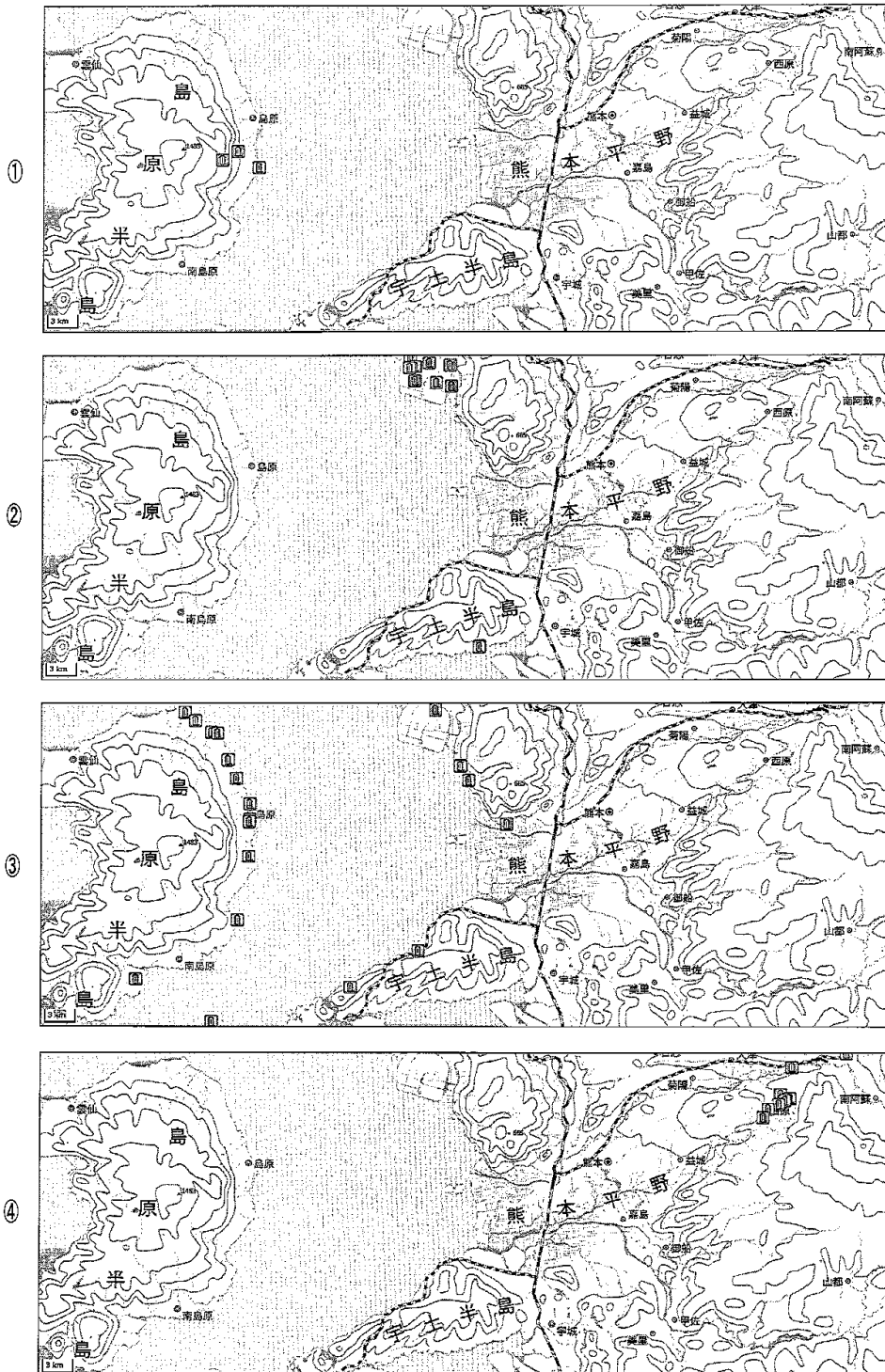
	①	②	③	④	⑤	⑥
図Ⅰ	韓国	韓国	中国	中国	フランス	フランス
図Ⅱ	中国	フランス	韓国	フランス	韓国	中国
図Ⅲ	フランス	中国	フランス	韓国	中国	韓国

(18枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 2 次の①～④の図は、火山災害、地震、高潮、津波のいずれかの災害の自然災害伝承碑の位置を示したものです。このうち、火山災害の自然災害伝承碑の位置を示したものと最も適切なものを、①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号2の解答欄にマークしなさい。



(地理院地図 Vector により作成。)

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18 枚のうち 3)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

3 都市・居住問題について述べたものとして適切ではないものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 3 の解答欄にマークしなさい。

- ① プライメートシティとは、政治や経済、文化・情報などの機能が極端に集中し、国内の他の都市よりも人口規模が突出して大きい都市のことである。
- ② ドーナツ化現象とは、大都市で都心に企業や工場、住宅が集まったことで、地価の上昇や居住環境の悪化が進行し、人口が郊外に流出することである。
- ③ スプロール現象とは、大都市の都心で人口流出が起こった後、老朽化した建物に低所得者が流入した地区で失業や犯罪などの社会問題が増加することである。
- ④ インフォーマルセクターとは、露天商や路上の靴磨きなどの、統計上の職業分類になく、行政指導や社会保障もない労働環境での経済活動のことである。

4 次の表は、2022 年の世界の畜産物生産高の上位 5 か国と世界の総生産高に占める割合を示しており、表中の空欄 ～ には牛肉、鶏肉、豚肉のいずれかが当てはまります。空欄 ～ に当てはまる畜産物の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑥の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 4 の解答欄にマークしなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(「日本国勢図会 2024/25」により作成。)

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	牛肉	牛肉	鶏肉	鶏肉	豚肉	豚肉
B	鶏肉	豚肉	牛肉	豚肉	牛肉	鶏肉
C	豚肉	鶏肉	豚肉	牛肉	鶏肉	牛肉

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18 枚のうち 4)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 5 次の文ア～エは、奈良時代のできごとに関する記述です。ア～エを年代の古い順に並べたものとして最も適切なものを、下の①～⑧の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 5 の解答欄にマークしなさい。

- ア 恵美押勝が挙兵したが、孝謙太上天皇側に先制され滅ぼされた。
 イ 橘奈良麻呂が藤原仲麻呂を倒そうとしたが、逆に滅ぼされた。
 ウ 藤原氏の四兄弟が、長屋王を策謀によって自殺させた。
 エ 藤原広嗣が、吉備真備・玄昉らの排除を求めて九州で大規模な反乱を起こした。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① ア → イ → エ → ウ | ② ア → ウ → エ → イ |
| ③ イ → ウ → ア → エ | ④ イ → エ → ア → ウ |
| ⑤ ウ → ア → エ → イ | ⑥ ウ → エ → イ → ア |
| ⑦ エ → イ → ウ → ア | ⑧ エ → ウ → ア → イ |

- 6 次の写真は下の【語群Ⅰ】の建築物ア～ウのいずれかを示したものです。また、あとの【語群Ⅱ】の建築様式 a～c のいずれかが、写真中の建築物における建築様式に当たります。写真中の建築物と、その建築様式の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑧の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 6 の解答欄にマークしなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【語群Ⅰ】

ア 東大寺南大門 イ 円覚寺舍利殿 ウ 慈照寺東求堂同仁齋

【語群Ⅱ】

a 書院造 b 禅宗様 c 大仏様

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
語群Ⅰ	ア	ア	ア	イ	イ	イ	ウ	ウ	ウ
語群Ⅱ	a	b	c	a	b	c	a	b	c

(18枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

7 江戸時代の文化について述べたものとして適切ではないものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号7の解答欄にマークしなさい。

- ① 元禄期には、和歌以外の文学は上方の町人文芸が中心で、作品として井原西鶴の「日本永代蔵」がある。
- ② 寛政の改革で、洒落本や黄表紙は厳しく取り締まれ、代表的作家である山東京伝が処罰された。
- ③ 文化・文政期には、滑稽本が盛んになり、作品として曲亭馬琴の「浮世風呂」がある。
- ④ 天保の改革で、人情本は厳しく取り締まれ、代表的作家である為永春水が処罰された。

8 次の文章ア～ウは、明治時代の教育に関する記述です。その正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑧の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号8の解答欄にマークしなさい。

ア 明治政府は西洋文明の摂取による近代化の推進を図り、フランスの学校制度にならった統一的な学制を公布した。小学校教育の普及に力を入れ、男女に等しく学ばせる国民皆学教育の建設を目指した。

イ 教育令では、全国画一の学区制を廃して町村を国民学校の設置単位とした。国民学校の管理は地方に移管され、就学義務は大幅に緩和された。

ウ 森有礼文部大臣のもとでいわゆる学校令が公布され、小学校・中学校・師範学校・帝国大学などからなる学校体系が整備された。明治時代の間には義務教育における就学率が5割を超えることはなかった。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ア	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
イ	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
ウ	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

(18枚のうち6)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

9 古代ローマについて述べたものとして適切ではないものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

- ① リキニウス・セクステウス法では、貴族などの有力者による公有地の占有制限が撤廃された。
- ② 3回にわたるポエニ戦争などにより中小農民が没落する一方、元老院議員や騎士階層は所領を拡大した。
- ③ 護民官のグラックス兄弟は大土地所有者の土地を没収して無産市民に分配しようとしたが失敗した。
- ④ イタリア半島の同盟市がローマ市民権を求めて反乱を起こし、さらに剣闘士が大反乱を起こした。

10 次の文章は、セルジューク朝について述べたものです。文章中の空欄 ア ～ ウ に入る語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑧の中から選び、その番号を答えなさい。なお、同じ記号の空欄には同じ語句が入ります。解答番号 10 の解答欄にマークしなさい。

セルジューク朝をおこした ア は、1055年、ブワイフ朝の勢力を駆逐してバグダードに入城し、アッバース朝カリフからスルタンの称号を授けられた。これ以後スルタンは、 イ のイスラーム国家における君主の称号として広く用いられることになる。

セルジューク朝は、イランからイラク・シリアにおよぶ広大な領域を支配下におさめた。また、イラン人の宰相は、ファーティマ朝による宣伝活動に対抗して、領内の主要都市に次々と ウ を建設した。これらの ウ では イ の神学と法学の授業が行われ、特にバグダードの ウ は当時の有数な学者が研究と教育をおこなうイスラーム世界の最高学府であった。

	ア	イ	ウ
①	イスマーイール1世	スンナ派	アズハル学院
②	イスマーイール1世	スンナ派	ニザーミーヤ学院
③	イスマーイール1世	シーア派	アズハル学院
④	イスマーイール1世	シーア派	ニザーミーヤ学院
⑤	トゥグリル＝ベク	スンナ派	アズハル学院
⑥	トゥグリル＝ベク	スンナ派	ニザーミーヤ学院
⑦	トゥグリル＝ベク	シーア派	アズハル学院
⑧	トゥグリル＝ベク	シーア派	ニザーミーヤ学院

(18 枚のうち 7)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 11 次の文章ア～ウは、20 世紀前半の中国の歴史に関する記述です。その正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑧の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 11 の解答欄にマークしなさい。

- ア 辛亥革命が起こると、三民主義を掲げる孫文が臨時大総統に選出されて中華民国が成立した。清朝政府は袁世凱を起用して革命側と交渉させたが、清を見限った袁世凱は孫文から臨時大総統を譲り受け、光緒帝を退位させた。
- イ 新文化運動を担った梁啓超らがロシア革命の影響下で社会主義の支持者となり、中国共産党を結成した。同じ頃、孫文は五・四運動の広がりをもて大衆的政治運動の必要性を痛感し、中国国民党を発足させた。
- ウ 日本陸軍の華北分離工作に対し、毛沢東率いる中国共産党を中心に抗日の動きが強まった。それでも抗日より共産党撲滅を優先していた蔣介石は、上海で張学良に監禁のうえ説得され、共産党との妥協に方向転換した。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ア	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
イ	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
ウ	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

- 12 次の文（ア）～（エ）は、第二次世界大戦後の第三世界に関する記述です。（ア）～（エ）を年代の古い順に並べたものとして最も適切なものを、下の①～⑧の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 12 の解答欄にマークしなさい。

- （ア）ベオグラードで開催された非同盟諸国首脳会議では、反植民地主義や米ソの平和共存をよびかけた。
- （イ）バンドンで開催されたアジア＝アフリカ（バンドン）会議では、平和十原則が採択された。
- （ウ）周恩来とネルーが会談し、主権尊重、平和共存などをうたう平和五原則を発表した。
- （エ）サハラ砂漠以南のアフリカで 17 の独立国が誕生し、「アフリカの年」といわれた。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ① （ア） → （イ） → （エ） → （ウ） | ② （ア） → （エ） → （ウ） → （イ） |
| ③ （イ） → （ウ） → （ア） → （エ） | ④ （イ） → （エ） → （ア） → （ウ） |
| ⑤ （ウ） → （ア） → （エ） → （イ） | ⑥ （ウ） → （イ） → （エ） → （ア） |
| ⑦ （エ） → （イ） → （ウ） → （ア） | ⑧ （エ） → （ウ） → （ア） → （イ） |

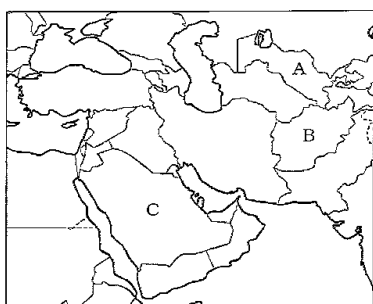
(18枚のうち8)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 世界の人々の生活や世界の気候に関して、あとの1～3に答えなさい。

- 1 次の図は、アジアの一部を示したものです。また、下の文ア～ウはそれぞれ図中のA～Cの国での生活の特徴について述べたものです。その正誤の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑧の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号13の解答欄にマークしなさい。



ア Aの国では、ソ連時代に、現在のトルクメニスタン南部の砂漠地帯に水を引くカラクーム運河が建設され、灌漑によって生まれた農地が綿花の栽培に利用されたが、アラル海の縮小などの問題が生じている。

イ Bの国では、砂漠に点在するオアシスでは河川や山麓から地下水路によって水を導いて野菜や果物を栽培するオアシス農業が行われており、この地下水路はフォガラと呼ばれる。

ウ Cの国では、オイルマネーを投下して、農業に向かない砂漠において、くみ上げた地下水に肥料を添加して散布するセンサーピボット方式の灌漑による作物栽培が行われている。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ア	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
イ	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
ウ	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

- 2 次の文ア～ウは、砂漠の成因について述べたものです。サハラ砂漠、ゴビ砂漠、パタゴニアと、それらの砂漠の成因の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑥の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号14の解答欄にマークしなさい。

ア 風上側に標高の高い山脈がある場所では、大気中の水蒸気が山脈を越えるときに雨となって降るため、山を越えた風下側では空気が乾燥する。

イ 北回帰線や南回帰線付近の亜熱帯高圧帯が卓越した地域では、一年中高気圧に覆われるために、雨が少なく気温が高い。

ウ 大陸の内陸部では、水蒸気の供給源となる海から遠く離れているために、水蒸気が到達しにくく、降水量が少なくなる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
サハラ砂漠	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
ゴビ砂漠	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
パタゴニア	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

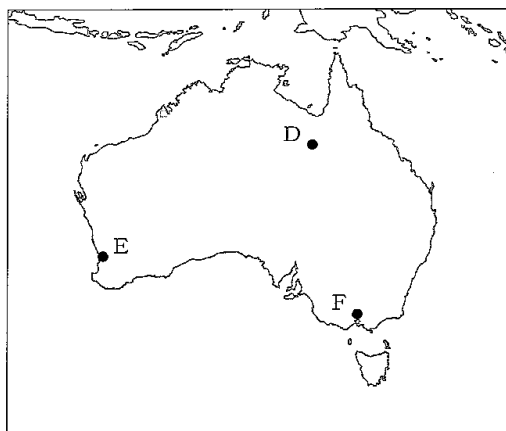
(18枚のうち9)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

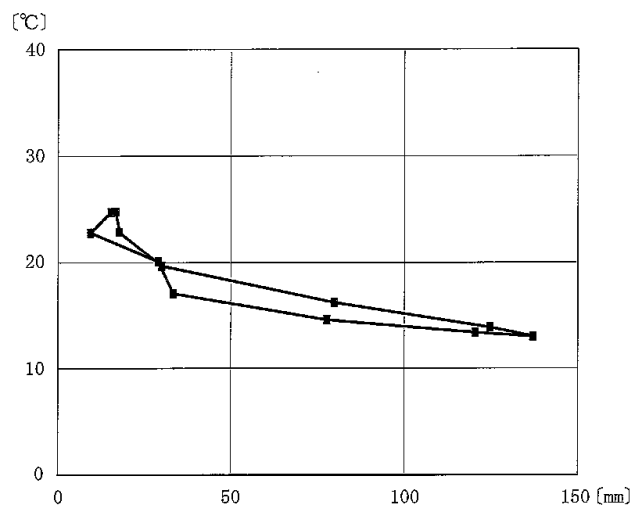
(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 3 次の図Ⅰ中の地点D～Fはオーストラリアの都市の位置を示しており、図Ⅱ～Ⅳは地点D～Fのいずれかのハイサーグラフを示したものです。地点とハイサーグラフの組合せとして最も適切なものを、下の①～⑥の中から選び、その番号を答えなさい。
解答番号 15 の解答欄にマークしなさい。

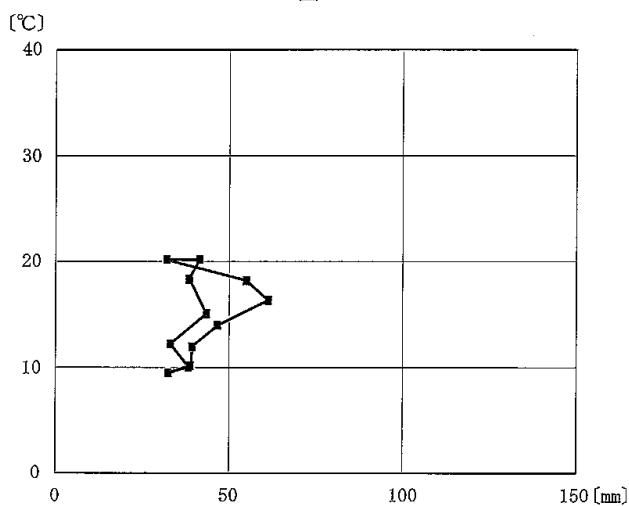
図Ⅰ



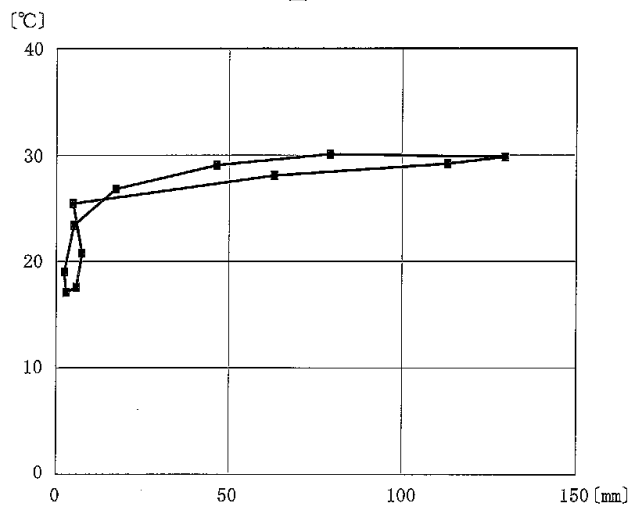
図Ⅱ



図Ⅲ



図Ⅳ



(気象庁ウェブページにより作成。)

	①	②	③	④	⑤	⑥
D	図Ⅱ	図Ⅱ	図Ⅲ	図Ⅲ	図Ⅳ	図Ⅳ
E	図Ⅲ	図Ⅳ	図Ⅱ	図Ⅳ	図Ⅱ	図Ⅲ
F	図Ⅳ	図Ⅲ	図Ⅳ	図Ⅱ	図Ⅲ	図Ⅱ

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18枚のうち10)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

3 日本の政治と文化の歴史に関して、あとの1～3に答えなさい。

- 1 次の資料は、平安時代の日本の政治に関する資料の一部です。資料中の二重傍線部に当たる天皇は誰ですか。最も適切なものを、下の①～⑥の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号16の解答欄にマークしなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- ① 嵯峨天皇 ② 聖武天皇 ③ 桓武天皇 ④ 天武天皇 ⑤ 醍醐天皇 ⑥ 宇多天皇

- 2 次の文章は、後白河天皇に関する政治や文化に関するできごとについて述べたものです。文章中の空欄 ア ～ ウ に入る語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑧の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号17の解答欄にマークしなさい。

後白河天皇は、 ア において平清盛や源義朝らの武士を動員し、対立していた崇徳上皇方を攻撃して破った。その後、院政を始めた後白河上皇は、自ら民間の流行歌謡である今様を学んで イ を編んだ。これは、院政期に入って、貴族文化に庶民とその背後にある地方文化が取り入れられて生み出されたものの一つである。

院政期には院の周辺に荘園の寄進が集中したばかりでなく、有力貴族や大寺院への荘園の寄進も増加した。後白河上皇が寄進した荘園群である ウ は鎌倉時代初めに約90カ所にのぼり、鎌倉時代末期には持明院統に継承され、その経済的基盤となった。

	ア	イ	ウ
①	保元の乱	閑吟集	八条院領
②	保元の乱	閑吟集	長講堂領
③	保元の乱	梁塵秘抄	八条院領
④	保元の乱	梁塵秘抄	長講堂領
⑤	平治の乱	閑吟集	八条院領
⑥	平治の乱	閑吟集	長講堂領
⑦	平治の乱	梁塵秘抄	八条院領
⑧	平治の乱	梁塵秘抄	長講堂領

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18 枚のうち 11)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 3 次の資料Ⅰ～Ⅲは、幕末の朝廷に関する資料の一部です。資料Ⅰ～Ⅲを年代の古い順に並べたものとして最も適切なものを、下の①～⑥の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 18 の解答欄にマークしなさい。

資料Ⅰ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

資料Ⅱ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

資料Ⅲ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 資料Ⅰ → 資料Ⅱ → 資料Ⅲ | ② 資料Ⅰ → 資料Ⅲ → 資料Ⅱ |
| ③ 資料Ⅱ → 資料Ⅰ → 資料Ⅲ | ④ 資料Ⅱ → 資料Ⅲ → 資料Ⅰ |
| ⑤ 資料Ⅲ → 資料Ⅰ → 資料Ⅱ | ⑥ 資料Ⅲ → 資料Ⅱ → 資料Ⅰ |

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18 枚のうち 12)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 4 世界史探究の授業において、「人類の歴史と地球環境との関わり」という主題について班別学習をしました。ある班は地質学の文献を調べたところ、「人新世」という地質学的時代区分の概念が新たに提案されていることを知り、3つの問いを立て、分担して探究を進めて次のメモを作成しました。これを読んで、あとの1～3に答えなさい。

Aさんのメモ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

Bさんのメモ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

Cさんのメモ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- 1 下線部 ㉔ に関連して、班員のAさんは班別学習を通して、最終氷期における人類の活動に興味をもち、調べてみたところ、次の写真を見付けました。この写真は下の【語群Ⅰ】の化石人類のいずれかが最終氷期に描いたとされる洞窟絵画の一部を示したものです。また、下の【語群Ⅱ】の文X～Zは【語群Ⅰ】の化石人類のいずれかの例について述べたものです。写真の洞窟絵画を描いたとされる化石人類と、その例に関する記述の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑨の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 19 の解答欄にマークしなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

【語群Ⅰ】 化石人類の区分	原人	旧人	新人
------------------	----	----	----

【語群Ⅱ】 化石人類の区分それぞれの例に関する記述	X クロマニヨン人は、剥片石器をつくり、銛・釣針などの骨角器を使用した。
	Y ホモ＝エレクトゥスは、ハンドアックスと火を使って狩猟・採集生活を営んだ。
	Z ネアンデルタール人は、毛皮の衣服をまとい、死者の埋葬や身体への彩色などを行った。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
【語群Ⅰ】	原人	原人	原人	旧人	旧人	旧人	新人	新人	新人
【語群Ⅱ】	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z

(18 枚のうち 13)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 2 下線部 ㊦ に関連して、班員の Bさんは班別学習を通して、人類が積極的に自然環境を改変した活動とはどのようなものであるかについて興味をもち、世界史上の事例を集め、その事例の一部を次のとおり表にまとめました。表中の空欄 ・ に当てはまる世界史上の事例 a～dの組合せとして最も適切なものを、下の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 20 の解答欄にマークしなさい。

Bさんがまとめた表

人類が積極的に自然環境を改変した活動	世界史上の事例
前 6000 年頃の農耕社会の発展	X
18 世紀以降の産業革命	Y

- a やせた土地でも栽培が可能なトウモロコシやジャガイモなどがアジアでも栽培されるようになった。
 b 降水量の比較的小さい黄河流域ではアワなどの雑穀が、湿潤な長江流域では稲が栽培されるようになった。
 c イギリス人のファラデーが電磁誘導の法則を発見し、発電機や変圧器などに応用された。
 d イタリア人のフラヴィオ・ジョアが発明したとされる羅針盤などにより、遠洋航海が可能になった。

	①	②	③	④
X	a	a	b	b
Y	c	d	c	d

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18 枚のうち 14)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 3 下線部 ㊦ に関連して、班員の Cさんは班別学習を通して、原子力の利用の歴史に興味をもち、その歴史について調べて次のとおり年表にまとめました。下の資料Ⅰ・Ⅱは1953年以降の原子力の利用に関連した演説や宣言の一部を示したものです。資料Ⅰ・Ⅱの演説や宣言が行われた時期は年表中の時期 ～ のいずれに当てはまりますか。資料と時期の組合せとして最も適切なものを、下の①～⑥の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 21 の解答欄にマークしなさい。

Cさんがまとめた年表

1953 年	ソ連が水素爆弾の爆発実験に成功した。
↓	a
	国際原子力機関が設立された。
	b
	米ソ英が部分的核実験禁止条約に署名した。
	c
1968 年	62 カ国が核拡散防止条約に調印した。

資料Ⅰ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

資料Ⅱ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	①	②	③	④	⑤	⑥
資料Ⅰ	a	a	b	b	c	c
資料Ⅱ	b	c	a	c	a	b

(18 枚のうち 15)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

[5] 次の 1・2 に答えなさい。

- 1 平成 30 年 3 月告示の高等学校学習指導要領に示された、地理歴史科の目標は、柱書として示された目標と、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱に沿った(1)から(3)までの目標から成り立っています。次の文はこのうち、柱書として示された目標を示したものです。文中の空欄 [A] に当てはまる内容として適切なものを、下の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 22 の解答欄にマークしなさい。

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる [A] を次のとおり育成することを目指す。

- ① 良識ある公民として必要な課題を主体的に追究、解決しようとする態度
- ② 良識ある公民として必要な基本的な問題について考察し公正に判断する能力と態度
- ③ 平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力
- ④ 平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質

- 2 平成 30 年 3 月告示の高等学校学習指導要領に示された、地理歴史科の各科目のうち、歴史総合の目標は、柱書として示された目標と、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱に沿った(1)から(3)までの目標から成り立っています。次の文はこのうち、(2)を示したものです。文中の空欄 [B] ・ [C] に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号 23 の解答欄にマークしなさい。

(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、 [B] 、 [C] 、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

ア 変遷 イ 推移 ウ 比較 エ 対比

	①	②	③	④
B	ア	ア	イ	イ
C	ウ	エ	ウ	エ

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18 枚のうち 16)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

6 古代の日本の歴史に関して、次の 1・2 に答えなさい。

- 1 次の表は 8 世紀における下総国葛飾郡大嶋郷と 10 世紀における周防国玖珂郡玖珂郷の戸籍のうち、それぞれ一つの戸の男女別、年齢別の人数を示したものです。周防国玖珂郡玖珂郷の戸籍にみられる特徴はどのようなものですか。簡潔に書きなさい。また、10 世紀頃にその特徴がみられるようになったのはなぜだと考えられますか。その理由を、「徴税」の語句を用いて簡潔に書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

表

〔人〕

性別	男			女		
	20 歳以下	21～60 歳	61 歳以上	20 歳以下	21～60 歳	61 歳以上
下総国葛飾郡大嶋郷 (721 年)	5	3	0	3	3	1
周防国玖珂郡玖珂郷 (908 年)	0	2	1	0	3	10

- 2 次の資料Ⅰ・Ⅱは、平安時代の地方政治に関するものです。資料Ⅰのような申文が作成されたのはなぜだと考えられますか。その理由を、資料Ⅰ・Ⅱを基に簡潔に書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

資料Ⅰ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

資料Ⅱ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18 枚のうち 17)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

7 「歴史総合」の授業で、第一次世界大戦後の国際秩序の変化について学習することとします。あとの1・2に答えなさい。

- 1 次の資料Ⅰはパリ講和会議に全権委員として参加した西園寺公望の復命上奏の一部を、資料Ⅱは国際連盟規約の一部を示したものです。第一次世界大戦後の国際協調体制の形成において日本はどのような役割を果たしましたか。資料Ⅰ・Ⅱを基に簡潔に書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

資料Ⅰ

臣 公 望
大命ヲ拝シ世界大戦ノ終局タル講和会議ニ臨ムカ為一月十一日閣下ヲ辞シ三月二日巴里ニ著ス……講和条件決定ニ至ル迄ノ経過ヲ観ルニ聯合与国間ノ協議ハ大体二種ノ會議ニ於テ行ハレタリ即チ一ハ各聯合与国ノ全権委員ヨリ成ル總會ニシテ公開ヲ原則トシ日、英、米、仏、伊ノ五大国ハ各五人、白耳義、伯刺西爾及「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」国ハ各三人其ノ他ノ諸国ハ二人又ハ一人ノ委員ヲ出セリ他ハ五大国間ノ會議ニシテ……一切ノ問題ハ幾ト大國間ノ會議ニ於テ決定シ單ニ其ノ結果ヲ形式的ニ總會ニ附シタルニ止マリタリ……人種的差別待遇撤廃ノ件ニ關シテハ本問題ニ多大ノ利害關係ヲ有スル英米兩國全権委員ト前後十數回ノ内交渉ヲ遂ケ専ラ妥協ノ精神ヲ以テ意見ヲ交換シ又國際聯盟委員會ニ於テ極力奮闘シタルモ英領殖民地ノ執拗ナル反對アリ英米兩國委員モ遂ニ賛同ヲ肯セサルニ至リ大勢如何トモスヘカラサリシヲ以テ帝國委員ハ第五回總會ニ於テ將來本問題ヲ重テ提議スヘキコトヲ宣言シテ我立場ヲ明ラカニシ之ヲ解決ヲ他日ニ譲リタリ…… 右謹テ奏ス 大正八年八月二十七日 講和全権委員 侯爵 西園寺公望

(外務省ウェブページにより作成。)

資料Ⅱ

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(「国際機構条約・資料集」により作成。)

8 高等学校 地理歴史科（日本史） 問題用紙

(18 枚のうち 18)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 2 国際連盟を中心とした国際協調体制の特徴や、戦間期における国際協調体制の動揺の要因を考察させることを通して、国際協調体制が動揺したことを理解させることとします。次の資料Ⅲ・Ⅳと年表を用いて、どのように指導を行いますか。簡潔に書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

資料Ⅲ 国際連盟規約の一部

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(「国際機構条約・資料集」により作成。)

資料Ⅳ 1931 年 11 月に出版された雑誌の挿絵

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(「Punch」により作成。)

年表

年月日	できごと
1925. 10. 19	ギリシア・ブルガリア国境で両軍の戦闘勃発。
1925. 10. 22	ギリシア軍がブルガリア領に侵入。ブルガリアが臨時理事会の緊急会合を要請。
1925. 10. 23	理事会議長は当事国双方に、軍事行動の停止と軍隊の撤退を厳達。
1925. 12. 14	連盟理事会はギリシアの賠償金支払い等を決議。
1926. 3. 1	ギリシアが賠償金の支払いを完了し紛争終結。
1935. 10. 3	イタリアがエチオピアに侵略開始。
1935. 10. 11	連盟総会、イタリアへの経済制裁を決定。ただし、石油の禁輸は除外。
1936. 5. 9	エチオピアを併合し、イタリア国王がエチオピア皇帝に即位。
1936. 7. 4	連盟総会、対イタリア制裁解除勧告。
1937. 12. 11	イタリアが国際連盟を脱退。

氏名

⑧ 高等学校 地理歴史科(日本史) マーク式解答用紙

受験番号

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

〔記入上の注意〕

1. 余白には何も記入しないでください。
2. HBまたはBの鉛筆で該当する ○ にマークしてください。
 マーク例 《良い例》 ●
 《悪い例》 ✓ / ✕
3. 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
4. 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する ○ にマークしてください。

1

解答番号	解 答 欄
1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
2	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
3	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
4	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
5	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
6	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
7	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
8	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
9	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
11	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
12	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

2

解答番号	解 答 欄
13	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
14	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
15	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

3

解答番号	解 答 欄
16	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
17	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
18	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

4

解答番号	解 答 欄
19	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
21	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

5

解答番号	解 答 欄
22	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
23	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

8

高等学校 地理歴史科（日本史） 記述式解答用紙

(2枚のうち1)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

1～5については、マーク式解答用紙に記入すること。

問題番号		解答欄
6	1	
	2	

(2枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

1～5については、マーク式解答用紙に記入すること。

問題番号		解答欄
7	1	
	2	

高等学校地理歴史科（日本史）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正	答	〔例〕	採点上の注意	配点
1	1	5			6
	2	1			6
	3	3			6
	4	6			6
	5	6			6
	6	5			6
	7	3			6
	8	4			6
	9	1			6
	10	6			6
	11	8			6
	12	6			6
2	1	3			8
	2	4			8
	3	5			8
3	1	3			8
	2	4			8
	3	6			8
4	1	7			8
	2	3			8
	3	3			8
5	1	3			6
	2	3			6

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	採点上の注意	配 点
1	表中の8世紀の下総国葛飾郡大嶋郷の戸籍は、男女の比率がほぼ同じであるのに対して、10世紀の周防国玖珂郡玖珂郷の戸籍は極端に女性の割合が高い特徴があることが分かる。これは、8世紀後半から9世紀になると農民間の貧富の差が拡大し、農民は様々な手段で負担を逃れようとして、戸籍に兵役・労役・租税を負担する成人男性を登録することを避けて、負担の少ない女性の登録を増やすという偽りの記載（偽籍）が行われたためと考えられる。 また、表中の10世紀の周防国玖珂郡玖珂郷の戸籍には、61歳以上の者が多く20歳以下の者はいないことが分かる。これは、国司のもとで徴税や税の運搬、文書の作成などの実務を担っていた郡司たちの力が衰えたことにより、出生者の記載や死亡者の確認などの正確な戸籍・計帳の作成や班田収授が実施できなくなっていたためであると考えられる。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているがよい。	8
6	資料Ⅰから、受領は、より多くの収入が得られる大国の受領への任命を望んでいたことが分かる。また、資料Ⅱは、巨利を得ようとした強欲な受領が郡司や有力農民に暴政を訴えられた例を示したものである。 これらの背景には、9世紀末から10世紀前半にかけて、政府が国司の交替制度を整備し、任国に赴任する国司の最上位者である受領に、大きな権限と責任を負わせるようにしたことがありとされる。このことにより、受領は郡司の任免権を握って彼らを駆使するようになり、自らが率いていた郎党たちを強力に指揮しながら徴税を実現し、自らの収入を確保するとともに国家の財政を支えた。 このように、国内支配を一任された受領は、課税率を高めることなどにより、私財を蓄えることができ、より大きな国の受領になることが利権としてみなされるようになったため、より多くの収入が得られる大国の受領への任命を望む申文が作成されたと考えられる。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているがよい。	20
1	資料Ⅰによると、日本は第一次世界大戦後のパリ講和会議に五大国の一つとして参加し、ヴェルサイユ条約の締結や国際連盟の創設に関わったことが分かる。とりわけ国際連盟創設を協議する委員会では、国際連盟規約の中に人種差別撤廃条項を加えることを提案するなど、新しい国際秩序の構築に向けて一定の存在感を示したが、国内や自治領における人種・移民問題を抱える英米の強い反対を受けると、これらに妥協することで国際協調を優先する外交姿勢をとった。 また、資料Ⅱより、ドイツやオスマン帝国の旧植民地などは、資源と経験を有し、適当な地理的位置にある国が受任国として連盟から統治を委任される制度が創設されたことが分かる。この委任統治制度により、戦勝国による実質的な支配下に置かれ、列強の植民地主義は守られることになった。なかでも日本は赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の受任国としてこれを委任統治した。 このように、日本はパリ講和会議では五大国の一つとして、また国際連盟では常任理事国として、第一次世界大戦後の国際協調を推進する役割を果たした。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なっているがよい。	12
7	まず「国際連盟の紛争解決に関するしくみはどのような特徴があったのだろうか」と発問し、資料Ⅲの第5条から、国際連盟では議決方法として全会一致方式を採っていたことや、資料Ⅲの第16条から、国際紛争の解決においては司法的な仲介や調停とともに経済制裁を勧告することができるものの、軍事制裁の手段を持たなかったことなどを読み取らせ、国際連盟は加盟国の紳士的な規約遵守の外交方針に依るところが大きく、その強制力が弱く、紛争解決機能に限界があったことに気付かせる。 さらに「国際連盟は実際の国際紛争の解決に当たってどのように対応したのだろうか」と発問し、資料Ⅳが日本と中国の対立を国際連盟が仲裁している様子を描いたものであることや、その仲裁が国際連盟にとって大きな試練であると捉えられていることを読み取らせ、資料Ⅳのタイトルから分かる出版時期と関連させることで、この日中の対立が満州事変を示しており、事変後に常任理事国である日本の国際連盟脱退を招いたことに気付かせる。そして、年表から、国際連盟はギリシア、ブルガリアの紛争解決には成功したものの、常任理事国であるイタリアが起した第二次エチオピア戦争では紛争解決に失敗し、日本と同様にイタリアの連盟脱退を招いたことを読み取らせ、大国の利害が関係しない中小国の紛争においては迅速な紛争解決に成功したものの、大国が主導した紛争に際しては機能不全に陥り、十分にその能力を発揮しえなかったことに気付かせる。 以上を踏まえ、「国際連盟が存在していたにもかかわらず、なぜ国際協調体制は動揺したのだろうか」と発問し、国際連盟の紛争解決機能に限界があったことを、実際の紛争解決に失敗したことを関連付けて考察させることを通じて、1930年代に国際協調体制が動揺したことを理解させる。	問いを正しく捉えていれば、表現は異なっているがよい。	24